

第296号（2025年3月号） / 2025年3月1日発行

PFAS独自井戸水検査

市民要望強まるもと、狛江市も実施へ

2月上旬に発表された狛江市の新年度予算案には、PFAS（発がん性のある有機フッ素化合物）の井戸水検査の予算61万6千円が計上されました。公共施設にある災害対策用井戸14カ所について、PFOSとPFOAの2種類のPFASの測定を行うとしています。汚染実態の解明の一步になることが期待されます。

しかし同時に、国・都・市とも、実態解明について世論に押させる形で一定の変化はありつつも、予防原則に立った積極的な姿勢に変化したと言える状況にはありません。過大な期待はできないというのも率直なところ です。

今回の予算計上は、市民が求め、市議会でも日本共産党などが繰り返し求めてきた成果です。これまで狛江市は、井戸水の独自調査について「実施の予定はない」と議会で答弁してきましたが、昨年12月の議会では「実施を検討する」と姿勢を変化させていました。

また、24年12月までに多摩地域では26市中13市（武蔵野市、三鷹市、調布市、府中市、小平市、国分寺市、立川市、昭島市、町田市、八王子市、福生市、羽村市、青梅市）が実施（または実施決定）していました（PFAS汚染を明らかにする狛江の会調べ）。24年度からは、東京都が自治体の独自井戸水調査に検査費用の3分の2の財政支援をおこなっています（25年度も実施継続見込み）。

東京都の地下水調査で、国の暫定指針値50ナノグラム（一リットル当たり）を超えた自治体では、ほとんどが独自調査にふみだしており、

多摩地域16市へ拡大

PFAS汚染を明らかにする狛江の会 重国たけし

410ナノグラム（21年度、都環境局調査）が検出された狛江市は、独自調査に踏み出さない自治体の中で最大の汚染が検出されていました。

25年度予算案では、多摩地域であらたに国立市、西東京市も予算計上しています（2月20日時点）。国立市では、公共施設のほか、民間の井戸も対象とし、PFOS、PFOA、PFHxSの3種類を調べます。多種類の調査は、汚染源の解明に役立ちますが、より多額の費用が必要になるために、自治体の姿勢があらわれてくることになります。

■いべんと西河原に展示コーナー■

PFAS汚染と対策について、「いべんと西河原」（西河原公民館、3月1～9日）で展示を行います。8・9の午前中にはビデオ上映会の実施も検討中です。ぜひお立ち寄りください。

PFAS独自水質調査実施16市

2025年2月20日時点

（多摩26市中 実施及び予算計上した自治体）



PFAS汚染を明らかにする狛江の会調べ

三宅市議が市民に暴言＝「うせろ」発言問題（上）

豊かな狛江を作る市民の会世話人／「水と緑のまち狛江を大切に作る会」メンバー 重国たけし

■本報告の背景

昨年7月、三宅議員が狛江駅前でアピール活動をしていた市民に対して「うせろ」と暴言を浴びせた問題で、7月と10月に2度にわたり市議会の会派代表者会議がおこなわれました。そしてその内容には、看過できない重大な問題点が残されたままであるとの思いを持っていました。

私は暴言のあった現場にはいませんでしたが、駅前の樹木伐採中止を求める別団体で取り組んでいたこともあり、関係者からもお話をお聞きしましたし、代表者会議は2度とも傍聴していました。そうしたことから、会議録がまとまった段階でそれを踏まえて、市政に関する重大な問題として報告したいと考えていました。

ところが、年末になって議会事務局に会議録について問い合わせたところ、会派代表者会議の会議録は行政の文書としては作成・保存されているが、議会の本会議や委員会のようにインターネットで見ることとはできず、パソコンで検索することもできないものであることがわかりました。

このままでは、市民の目に触れることがないままになってしまいます。そこで、会議録を情報公開請求によって取り寄せました。ここでは、その会議録にもとづいて、「うせろ」発言問題の経緯（上＝今月号）と私の問題意識（下＝来月号）について述べたいと思います。なお、会議録の全文については、取り寄せたPDF文書をテキスト化し、豊かな狛江を作る市民の会のHPに掲載する予定です。

狛江の民主主義を守り発展させるためにも、市民の皆さんに事実関係を知っていただき、ご意見をお寄せいただきたいと考えています。

■「うせろ」発言問題と議会の対応の経過

7月8日、狛江駅前で「ほこみち事業（後述）と土と緑の共生を」と駅前の樹木伐採の見直しを求めてプラカードを持ってスタンディングしていた市民（Yさん＝議会で使用されていた名称）に対し、三宅まこと市議が「うせろ」と暴言を浴びせた。

これに対しYさんらはただちに市議会に抗議の訴えを行いました。訴えを受けた正副議長（谷田部議長、宮坂副議長）は、「市民に対する問題発言」と判断し、「経緯や現状」を報告するための

市議会会派代表者会議が7月26日に急きょ開催されることとなりました。

代表者会議では、議長から「Yさんに対しX議員が『失せろ』と発言した」ことについて事実確認を行ったこと、「狛江市議会といたしましては、議場外での出未事ではありますが、このような発言は市議会全体の品位を問われることにつながりかねないと考えている」との認識が示されました。そして、議長としてYさんにお詫びのための面会を申し入れたことなどが報告されました。

この報告に対し、三宅議員（代表者会議の構成員として出席）から、X議員とは自分であり、「うせろ」と言ったことは事実であり、「不徳の致すところ」とする発言がありました。しかし、Yさんに対する謝罪の言葉はなく、逆に、「（Yさんらの活動によって）交通の動線を妨げられていた」と、Yさんが迷惑行為を行っていたかのような発言が行われました。一方で、代表者会議への出席者および議会事務局に対しては「お時間を頂戴した」とお詫びがのべられました。他の会議出席者からは、「猛省を促したい」との発言もありました。

その後、他の出席議員から「猛省を促したい」との発言もありました。その後、議長が締めくくりの発言を行います。その中で、「当事者より謝罪がございました」としたこと、傍聴していた市民からは、「市民への謝罪はなされていない」などの抗議の声があがる一幕もありました（「傍聴者は静粛に」と注意がなされた）。

市民の発言が認められていない市議会の場で、Yさんらに迷惑行為があったかのようにのべた三宅議員の一方的な発言は看過できないことから、Yさんらは後日、代表者会議の会議録を確認し、9月13日、議長に対し、事実と異なる三宅議員の発言について議会録の訂正を求める申し入れを行いました。

この申し入れに対しては、当日の議会録は後から修正することはできないという議会事務局からの説明もあり、Yさんからの事実関係について訴えを代表者会議で紹介し、別途会議録に残すという対応がとられることとなりました。

これを受けて、10月2日にあらためて会派代表者会議が開催され、議長からこの間の経過と、Yさんから「通行の邪魔をした事実はないことがあったかも事実であったことのように会議録上に残ってしまっていること」に強く抗議されていること、「邪魔にならないように、壁に沿って1人でボードを持っていたので、通行も妨げてはいませんし、邪魔もしていません」という訴えがあったことが紹介されました。

そして議長から、「通行の妨げであったか否かについては、当人同士の間のことですので、……（議会として）事実関係の確認には至りませんが、私（議長）の発言として（Yさんの認識を）会議録に残させていただく」と説明がなされました。

★経過を踏まえての私の問題意識については、来月号に掲載する予定です。

シルバーパス 1万2千円に値下げへ！都民の要求一步前進！

70歳以上が都営交通と都内の民間バスで利用できるシルバーパス。来年度から所得が135万円を超える人のパスが20,510円から12,000円に引き下げられることになります。シルバーパスは2000年までは70歳以上の多くが無料でしたが、石原都知事（当時）が全面有料化を打ち出し、自民、公明などの賛成多数で強行されました。以降、共産党・民進党（民主・立民）・生活者ネットなどが共同して、大幅値下げと適用交通路線の拡大を提案してきましたが、自民、公明、都民ファーストの会は共同の提案にも、都民の請願・陳情にも反対してきました。2024年12月には、共産、立民、ミライ、ネット、グリーンの5会派39人が条例改正案に賛成しましたが、自民、都ファ、公明、維新などが反対・否決。ところが、2025年1月の予算査定で都知事が値下げ方針を明らかにするや、公明党などがさも自分達の成果のように宣伝し始めました。

6月には都議選があります。それぞれの政党が何をやってきたのかしつかり見る必要があります。

防災フェアでの自衛隊による「戦争体験」への 再申入れに対する再回答についての意見

狛江市長

松原 俊雄 様

防災フェア自衛隊参加に関する
私たちの再申入れに対して再回答
（[狛総安発第000404号](#)。以下、再
回答）をありがとうございます。



しかし、再回答でも問題の焦点をぼかしている
の思いをぬぐえません。以下、何点か指摘させて
いただき、今後の市政に反映させていただければ
と考えます。

1 再回答では「自衛隊が出展した戦闘機等のバー
チャルリアリティ体験が戦争を想起させるもの
であり、防災訓練と無関係であったというご指
摘は受け止め、今後の内容については随時協議、
調整しながら市民の皆様の安心安全確保や狛江
市の減災につなげられるよう進めます。」そして、
「防災フェアが戦闘訓練、戦争体験をさせること
を目的としたイベントではないことをご理解く

ださい。」とあります。

したがって、防災に名を借りて、戦闘訓練や戦
争体験を想起させるようなことは「しない」と明
確に述べていませんが、「指摘を受け止めて」「減
災につなげられるよう進めます」とありますので、
今後は「戦闘訓練や戦争体験を想起させるよう
なこと」はさせないと理解いたしますので、くれぐ
れも裏切ることのないようにしてください。

2 問題なのは自衛隊のこの「戦闘訓練や戦争体
験」が「出展内容の一部」だとわざと軽視してい
ることです。事実をありのままに見て欲しいと思
いますが、被災地派遣に関わることは極一部で、
出展する口実であって、主力はVR体験でした。
こうしたことは民間企業の出典の場合でも大い
に問題にされるべきことかと思います。防災そ
のけで、関係のない自社製品の宣伝をしていたら、
その企業は二度と出展させないでしょう。まして
自衛隊は「戦闘」（人を殺すこと）を本務として

いる「軍事組織」です。そうした自衛隊に関しての対応は自治体として慎重にしていきたいと思えます。

3 繰り返しになりますが、自衛隊は安保法制により集団的自衛権を保持し、米軍と統一指令部を設け、敵基地攻撃能力を持ちつつあります。憲法違反、少なくとも憲法違反の疑いがある自衛隊に対して、平和都市宣言を発出している狛江市としては自衛隊の宣伝の片棒を担いだり、隊員募集に協力するべきではないと考えます。

狛江市の市政として、政府に安保法制を破棄し大軍拡を止めるよう要請していただきたいと考えます。

私たちは原発のない社会、気候危機を克服した社会を望んでいます。戦争も核兵器もない平和な未来を求めています。

2025 年 2 月 13 日

原発と気候危機を考える会
連絡責任者 西尾真人

【声明】核兵器禁止条約締約国会議への「不参加」表明に抗議します

核兵器廃絶日本NGO連絡会

日本政府が核兵器禁止条約の第3回締約国会議に、前2回に続き参加しないと表明したことに対して、私たちは強く抗議します。昨年日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、今年は被爆80年を迎えるという中、今こそ日本は、核兵器の非人道性を世界に訴える重要な責務を果たすべきです。とりわけ現在、核保有国は国連憲章や国際人道法などのルールを無視した行動を重ねており、核の脅威がかつてなく高まっています。日本は核兵器禁止条約の締約国会議に参加することによって、核兵器のいかなる使用も許さず、その廃絶を求める姿勢を明確に示すべきです。核兵器を非人道兵器として全面禁止したこの条約に被爆国日本が背を向けることは、核兵器に正当性を与え、各国の核軍拡を助長するものですらあります。

これまで全国の被爆者、市民、NGO、さらに、多くの首長、知事、地方議会が政府に対して核兵器禁止条約締約国会議への参加を求めてきました。与野党からも、代表レベルでの要請が繰り返されてきました。こうした声に耳を傾けない政府の姿勢に、私たちは強い憤りを感じています。

政府はこの数カ月間、過去にオブザーバー参加した国の事例を検証するといってきました。しかし、政府から示されたその内容は、とても「検証」とは呼べない乏しいものでした。米国と同盟関係にありながらも同会議に参加して、核被害者援助や核軍縮の検証などについて意見表明してきたノルウェー、ドイツ、オーストラリアなどの事例について、ほとんど目を向けていません。これでは、最初から結論

ありきの、名ばかりの「検証」であったといわざるを得ません。

核兵器禁止条約の締約国会議に参加することは、核兵器国と非核兵器国の橋渡しに資するものであって、分断を広げるものではありません。日本を取り巻く安全保障環境が厳しいことは事実ですが、だからこそ緊張を緩和し核軍縮を促進する必要があるのです。核兵器の非人道性を訴えることは、日本周辺の核保有国に対しても、核兵器の使用や保有を許さないというメッセージになります。

政府がこのたび方針を示したとはいえ、これをそのまま受け入れることは到底できません。国会における徹底的な議論が必要です。私たちは政府に、方針の変更と会議への参加を求めます。

そして政府の決定のいかんにかかわらず、多くの被爆者とNGOは同会議に参加し、それぞれの立場で核兵器廃絶を訴えます。与野党の国会議員も参加の意向を示しており、私たちもこれら議員と連携をしていきます。参加を拒んでいるのは政府だけです。方針の再考を強く促します。

2025年2月18日

核兵器廃絶日本NGO連絡会 共同代表

足立修一(核兵器廃絶をめざすヒロシマの会共同代表)
伊藤和子(ヒューマンライツ・ナウ副理事長)
大久保賢一(日本反核法律家協会会長)
川崎哲(ピースボート共同代表、核兵器廃絶国際
キャンペーン(ICAN)国際運営委員)
田中熙巳(日本原水爆被害者団体協議会代表委員)
朝長万左男(核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員長)

3月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。
※本紙に折り込んでほしいビラなどがありましたら、280部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
1日(土)～ 9日(日)	西河原公民館	いべんと西河原 新婦人展示・体験、PFAS 展示 戦争紙芝居など	
3日(月) 15時～16時	粕江駅前	Silent Standing	《平和憲法を広める粕江連絡会》《こまえ九条の会》
9日(日) 15時～16時	粕江駅前	9の日行動＝駅前署名・宣伝 核兵器禁止条約参加を求める 署名も行います。	戦争なんてイヤだ！粕江市民実行委員会
11日(火) 14時～15時	粕江駅前	粕江駅前宣伝 「福島原発事故を忘れない」	原発と気候危機を考える会
14日(金) 14時～	みんなの広場	「豊かな粕江」4月号 編集会議	開催時間注意
19日(水) 16時～ 17時30分	西河原公民館 学習室2	《平和憲法を広める粕江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
25日(火) 14時～16時	東京土建粕江 支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	冒頭学び講座予定
26日(水) 17時30分～ 18時30分	粕江駅前	《消費税をなくす粕江の会》 の署名行動	民主商工会や東京土建粕江支部が中心。第4水曜日。
27日(木) 10時～12時	東京土建粕江 支部会館	戦争なんてイヤだ！粕江市民 実行委員会 全体相談会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください
31日(月) 14時～16時	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
4月1日(火) 9時30分～	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな粕江』 4月号の製本・仕分け作業	折り込みのある団体はご参加ください。

粕江市議会 2025 年第1回定例会

3月5日(水) 総務文教常任委員会

3月6日(木) 社会常任委員会

3月7日(金) 建設環境常任委員会

3月12日(水)～14日(金) 予算特別委員会

3月17日(月) 予算特別委員会予備日

3月26日(水) 本会議(最終日)

請願・陳情締切： 第2回 3月7日(金)

昨年はノーベル平和賞受賞 今年は戦後・被爆80年
青年劇場「あの夏の絵」エコルマホールで公演！

日時：7月3日（木）18：00 開場 18：30 開演

会場：エコルマホール（狛江駅北口）

チケット：一般 3,000 円 学生・高校生 500 円

小・中学生・幼児 無料（無料の方もチケットはお持ちください）

（3月半ばごろから販売開始予定。販売方法の詳細はその頃に公表します）

連絡先：東京土建狛江事務所 狛江市猪方 3-25-37 03-3480-9761

▼ 記憶の継承 “をテーマにした作品です。

広島市立基町高校の高校生が被爆者の証言（被爆の前後からその後の人生）を丹念に聴き、「被爆者の手になって」絵にしている事実を舞台にしたのが「あの夏の絵」です。「原爆の記憶が消えていくことの怖さ」を心に刻みながら絵にしていける姿をご覧ください。

多くの市民に観劇していただくために、また若い人たちに見ていただけるよう、

格安のチケットにしました。

エコルマホールを満席（720席）にする取り組みです。

市内に限らず、周りにも広く声を掛けていただければ嬉しいです。

呼びかけ人

伊藤千尋 （国際ジャーナリスト）

小俣眞智子（元教師 こまへ平和フェスタ初代実行委員長）

小林弥栄子（語り手）

金光桂子（元舞踊家）

寺尾安子（元教師 森瀧市郎日本被団協初代理事長の長女）

中島信子（児童文学者）

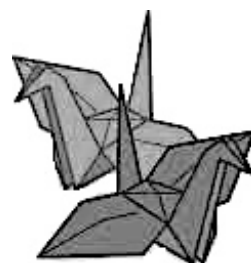
増田善信（気象学者 広島黒い雨調査「増田雨域」提唱者）

「あの夏の絵」狛江公演を成功させる会

共同代表 牧岡善隆（東京土建狛江支部）

周東三和子（新日本婦人の会狛江支部）

大熊 啓（猪方在住）



清瀬市、住民投票条例制定ならず！

確定署名数7,674筆（有権者の12%）でも市議会で否決

「住民投票で夢のある図書館を創るきよせの会」が取り組んだ住民投票条例制定請求により、2月3日に清瀬市の臨時議会が開かれました。

市長は意見書をつけて「市立図書館の設置に関する住民投票条例」を上程、代表者の意見陳述の後、代表者への質疑、執行部への質疑に続いて討論、採決が行われました。午前10時に始まった議会が終わったのは午後9時30分過ぎ！採決の結果は賛成7、反対12で否決されてしまいました。長時間の議会にもかかわらず傍聴者は100人超、NHKはじめマスコミ6社が取材しました。

2月16日に報告会が開かれ参加してきました。

代表のありはらせいじさんが挨拶。清瀬市の歴史に残る運動だ、語りついでいかなければならない。議会の議論でもなぜ減らすのか不明確。市民の声を聞く必要なし、まるでムラ社会と話されました。



事務局の報告や陳述した方からの発言では、皆さん絶対あきらめない、ここが出发点という声が上げられました。廃止の4館のうち元町子ども図書館については当面の間存続との譲歩を引き出せましたが、図書館設置条例に書き込ませないと、

いつ潰されるかわからない、宅配サービスをする計画もどうなるか不明なので、名称変更して会を存続させよう、この結果を全戸に知らせようということになりました。

その後の各図書館の地域に分かれての懇談では、署名集めに回って感謝されたのは初めて、多くの市民と話し合うことができた、早速新しい図書館を考える会を作ろうとの声も出されていました。

私も昨年9月の集まりで狛江の経験をお伝えし、また成蹊大の武田先生を紹介したり、狛江の運動のシンボルになったくまさんのイラストが清瀬でも活躍していて、運動のお役に立ててよかったと思います。

市や議員の対応が、狛江とあまりにも似ているのは驚きでした。住民投票に取り組んだことが、



これからの運動の力になっていくことを願い、今後も交流していきたいと思います。

（周東三和子）

憲法改悪反対、戦争する国にするなど、 寒さにめげず行動しています。

2/3 Silent Standing



2/9 9の日行動



豊かな狛江をつくる 市民の会

2025 年総会

5 月 17 日（土）14 時～16 時

会場：東京土建狛江支部会館

狛江市猪方 3-25-37



2025年 広島・長崎被爆80年

3 月 9 日（日）15 時～16 時
狛江駅前で署名を集めます。

狛江の自然



オオイヌノフグリ

春を見つけに、2 月 17 日多摩川の土手を探しました。ヒメオドリコソウやカラスノエンドウのピンクも捨てがたいですが、今回はコバルトブルーのオオイヌノフグリに（いずれも帰化植物）。和名は無粋で、別名「星の瞳」の方が青い花を散りばめたように咲く特徴を表していると思います。早春の花ゆえ防寒対策として葉と茎に生えた短い毛（写真）が保温効果を保ち、子孫を残すため虫だけに頼らず、自家受粉もできるよう保険をかけるなど、たくましい植物ですね。

（岩戸北 林健彦）